

「さいたま市では、システムの刷新に伴い『CyberMail』を導入しました。数千人以上がログインしてもトラブルなく安定稼働しています。」



さいたま市

政策局 政策企画部 情報システム課

課長 緑川 誠一郎 様 (中央)
課長補佐 田端 正義 様 (左)
主事 保田 康平 様 (右)

導入前の課題

- ・一斉にログインした際に、レスポンスが遅くなってしまった。
- ・一部の操作性の低さにより、不便を感じた。

導入製品



導入後の効果

- ・トラブルもなく、順調に稼働しています。
- ・多機能により、業務が円滑に行うようになりました。
- ・誤送信対策機能を情報漏洩防止に活用していきます。

さいたま市概要

全国に 20 ある政令指定都市のうち、9 番目に人口が多い市

—さいたま市について

さいたま市は埼玉県の南東部に位置する県庁所在地です。

平成 13 年 5 月 1 日に旧浦和・大宮・与野の 3 市合併により誕生し、平成 15 年 4 月 1 日には全国で 13 番目の政令指定都市となりました。



さらに、平成 17 年 4 月 1 日の旧岩槻市と合併し、現在 (平成 26 年 7 月) の人口約 125 万人は、全国に 20 ある政令指定都市のうち、9 番目に人口が多い市です。

プロのサッカークラブ (浦和レッズと大宮アルディージャ)



のホームタウンということもあり、サッカーが盛んなことは知られていますが、最近ではツール・ド・フランスの日本版である「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」を開催しています。

導入の背景

システムの刷新に伴い、「CyberMail」を導入

—導入経緯についてお聞かせください

旧システムの構築からおよそ 10 年が経過し、機器のリース満了に伴い「さいたま市情報化アクション・プラン (※1)」推進の一部としてシステムの刷新があり、競争入札による総合評価方式にて伊藤忠テクノソリューション株式会社の提案を採用し、併せて「CyberMail」の導入を決定しました。

従来のシステムには、機能や操作性に加えて、年に数回程度ですが、一斉にログインした際にレスポンスが遅くなるという課題がありました。

「CyberMail」は、従来のものと比較して安定稼働だけでなく、機能や操作性についても評価しています。

(※1)「さいたま市総合振興計画」の実現を IT の面から支援・推進するため「情報化計画」とその具体的な行動計画である「情報化アクション・プラン」を策定した情報化施策の取組み

User Profile

さいたま市

さいたま市
<http://www.city.saitama.jp>

市長：清水 勇人

住所：〒330-9588
さいたま市浦和区常盤 6-4-4



■ 評価機能

直感的に操作できる画面、独自のユーザーレベルなどの管理者機能で、情報システム部門の負荷を軽減

— 「CyberMail」の評価している機能とは？

個々の主観になりますが具体的な内容は次の通りです：

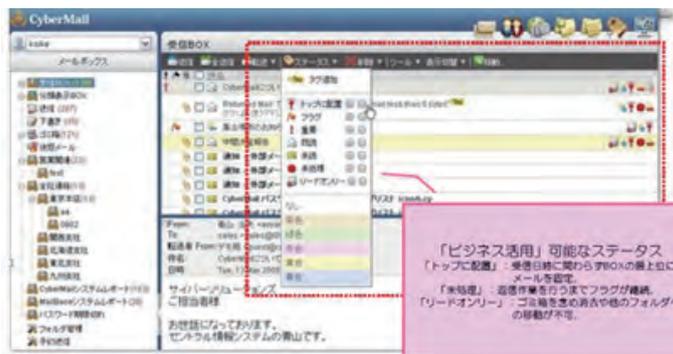
<画面デザイン>

洗練されていて見やすく、わかりやすいので直感的に操作できるところが良いと感じています。



<ステータス機能>

多機能と言うこともあり、まだまだ、使い切れていない機能も多いのですが、重要なメールについては、既読を未読にしたり、受信BOXのTOPにあげたりできる便利な機能を使いこなしたいですね。



<ユーザー管理>

市役所のほか関連施設も含め、数千名の職員業務でメールを利用しています。職員の中には、我々のように毎日、多くのメール業務に関わる者もいれば、部署によっては、あまりメールを使わない職員もいます。業務内容によって、ユーザーレベルでのメールボックスの容量管理等ができるのは合理的です。



<配送メール状況管理>

送信メールの詳細な配送状況をWebメール画面から管理ができるのは便利ですし、ログレポートもブラウザで確認可能なので、情報システム部門の負荷の軽減になっています。

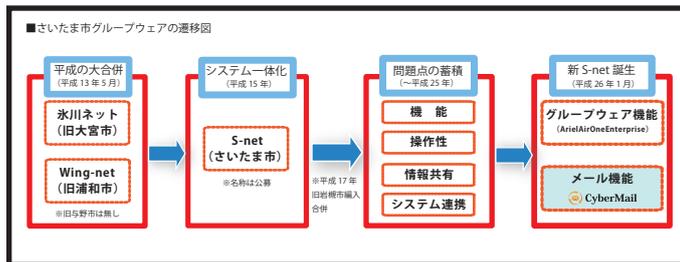
■ 導入の効果

数千人がログインしても、トラブルなく安定稼働
情報漏洩対策にも有効な機能を活用

— 「CyberMail」をどのように活用していますか？

さいたま市では、「CyberMail(サイバーメール)」を2014年の1月から導入し、市役所のほか関連施設の職員も含め、数千名の職員(※1)が、円滑な業務を行うために活用しています。導入してから、半年ほど経過していますが、その間、トラブルもなく順調に稼働しています。

※1 端末台数：7,000台
(平成26年4月1日現在の職員数9,033人)



— 今後、特に活用していきたい機能とは？

昨今、公的機関や民間を問わずに個人情報の慎重な取扱いが必須で、情報漏洩などのセキュリティ対策は重要事項です。

「CyberMail」のメール誤送信対策(メール審査機能)を有効活用し、アドレス情報等の漏洩防止に努めたいと考えています。

— 今後のサイバーソリューションズへの期待をお聞かせ下さい

今後も官公庁におけるシステム構築は長期的な安定と発展が求められます。

既存のIT設備を無駄なく有効に活用しつつ、職員の意識を高め、業務の効率化や市民サービスの向上を目指していきます。



それらに役立つ技術やサービスの提案について、より一層の期待をしています。引き続きご支援ください。

— 本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。